

苦節6年、1社1業種依存脱却にむけた努力が、H3ロケット打上げ成功として結実

「ロケット用配管部品事業が軌道に乗るまで6年かかった。結果が見えない中、エース級を含む従業員の大量退職も経験した。それでも諦めなかつたのは「宇宙に参入したら世の中の役に立てる、すごくやりたい」というモチベーションがあったから。（代表取締役社長 秋庭新吉氏）」

○事業展開の背景、効果・反響

- ・自動車エンジン用配管部品等の試作、小口量産を行う会社として創業後、2000年東海豪雨で被災。危機をチャンスと捉えて移転を決意、旧工場の4倍の敷地面積の工場を建て、取引規模を広げながら発展。
- ・2017年以降は、自動車部品の共通化やCASEの進展による試作品需要の減少、1社依存体制からの脱却を目指し、H3ロケット用配管部品の開発・製造に従事。6年の歳月を経て、H3ロケット打ち上げ成功に貢献。さらに、技術力が認められ、防衛関連部品の製造も開始し、主要顧客以外の売上げは、2017年の5%から、2024年には25%に拡大。
- ・近年は、従業員からのアイデアを受けて、自動車部品で培った技術を活かしたオープン機能つき薪ストーブや焚き火台など、BtoCのアウトドア製品開発にも取組む。

○今後の展開

- ・小型改良版薪ストーブを開発し、手の届きやすい価格設定の商品を市場投入、従業員に経験を積んでもらうことで営業力を高めながら需要拡大を図る。
- ・H3ロケット用配管部品提供ノウハウを活かし、国内外の民間ロケット会社への販路拡大を目指す。

<企業情報>

所在地：愛知県安城市赤松町的場190番地1
代表者：代表取締役社長 秋庭 新吉
創業：1979年

従業員数：68名

資本金：1,200万円

事業内容：自動車・航空宇宙部品の試作・製造

HP：<https://ise-kogyo.co.jp/>



展示会でのPRの様子（出所：イセ工業(株)提供）



左 薪ストーブ、右上 焚き火台、右下 薪セット（出所：イセ工業(株)提供）